
大切なんです

ブルガール

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大切なんです

【Nコード】

N5956Z

【作者名】

ブルガール

【あらすじ】

「 菊さん 生まれ変わるなら私 貴族以外のものになりたい

だって、婚約者が親に勝手に決められて、自由なんて何にもない。

それに、」

貴方と好きという気持ちを分かち合えない。

そんな人生なんて嫌だわ。

菊さん、もしも私が家を捨てて貴方のところにきたら

笑顔で迎えてくれる？

いいえ、きっと笑顔でなんて迎えてくれないわね。

でも、どうしても貴方のそばにいたい。

幼稚だと思われてもいい。

だから、私のそばにいてください

奇話

「おはようございます 狂歌様」

「おはよう」

「10時から尚人様から伝えたいことがあると仰っております」

「どうせあのことでしょ 早く部屋から出て行って」

「はい 失礼致しました」

だめだ。こんな世界は私には窮屈すぎる。

私は貴族の霊園寺家というところに生まれた。

そのため、将来のことを小さいころから考えなければいけなかった。
友達もできなかった。

唯一親しい友達は異国の方の、

エリザベータだけ。

そして、私は15歳。

だから、結婚相手を早々に決められた。

しかもあの親父勝手に婚約しやがって。

私の許可をしつかりと得てほしい。

とはいってももう、手遅れだ。

いや、まだ大丈夫。

まだ結婚はできない。

私はクローゼットの中から、靴を出してきて、窓から飛び降りた。

「よつと…」

いまは8時。

まだいける。

菊のところにいかなきゃ！

菊とは、私と同じく貴族でもあるが、武士でもあるという。

結構珍しい家なのだ。

菊の家は結構自由だ。

婚約者なんて勝手に親は決めない。

それを思い出すたび、

いいなめ...と田んぼ

吉話 (後書き)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5956z/>

大切なんです

2011年12月19日22時52分発行